

平成28年度 大分市公共下水道事業会計 決算ポイント

経営状況等

平成28年度大分市公共下水道事業会計決算につきましては、収益的収支で約8千万円の純損失を計上しましたが、内部留保資金繰越額は約12億9千万円を確保しました。

公共下水道事業は、整備費の財源に活用した企業債の償還費が事業経営にとって大きな負担となっており、今後さらに普及率の向上に努める必要がある中、施設の老朽化に伴い改築更新費の増加が見込まれています。

こうしたことから、平成24年度から平成29年度を計画期間とした「大分市公共下水道事業中期経営計画」を策定し、効率的・効果的な整備を進め普及率の向上を図るとともに、公共ますへの早期接続や使用料収納率の向上、業務執行方式の見直し等、経営健全化に向け積極的な取組みを進めています。

大分市公共下水道事業中期経営計画の取組み

	目標（平成29年度）	平成28年度決算	平成27年度決算
人口普及率	61.9%	62.6%	61.9%
水洗化率	91.7%	88.8%	88.6%
収支バランス	収益的収支を「黒字」	△80,466千円	△55,134千円
一般会計繰入金	基準外繰入金を「0」	413,294千円	421,077千円

※ 平成29年度に中期経営計画の計画期間等の見直しと、新たな経営目標を掲げる次期中期経営計画の策定準備作業に着手し、平成30年度に「上下水道事業経営戦略」の策定を計画している。

現行中期経営計画 計画期間 平成24年度～平成29年度→平成30年度（予定）
「上下水道事業経営戦略」 計画期間 平成31年度～平成40年度（予定）

平成28年度 決算の状況

（単位：千円）

区分	平成28年度	平成27年度	増減	説明
収入 （消費税額407,353）	11,862,722	11,844,977	17,745	使用料収入 5,502,753 基準外繰入金 413,294
支出 （消費税額257,519）	11,793,354	11,732,219	61,135	
収益的収支	69,368	112,758	△43,390	
当期純損益（消費税抜き） ①	△80,466	△55,134	△25,332	
収入	6,244,366	7,149,666	△905,300	国庫補助金 1,355,043 企業債 3,108,500
支出	9,963,314	10,656,511	△693,197	建設改良費 3,509,144 企業債償還 6,101,769
資本的収支 ②	△3,718,948	△3,506,845	△212,103	
消費税資本的収支調整額	149,834	167,892	△18,058	
前年度からの繰越財源	1,434,771	1,368,853	65,918	
翌年度への繰越財源等	△65,775	△81,620	15,845	
当年度損益勘定留保資金	3,572,609	3,460,005	112,604	長期前受金戻入を除く
計 ③	5,091,439	4,915,130	176,309	
翌年度への繰越金 ①+②+③	1,292,025	1,353,151	△61,126	

主な事業

≪ 収益的収支 ≫ 下水道施設の維持管理など、日常の事業活動に伴う収支

（主な支出）

- 水資源再生センター包括維持管理業務委託料 1,230,996千円
- 汚泥運搬・処分業務委託料 469,088千円
- 水道局使用料徴収事務委託料 214,731千円

≪ 資本的収支 ≫ 下水道施設の建設・改良など、投資にかかる収支

（主な支出）

- 汚水管渠建設費（新設） 1,718,190千円
- 雨水管渠建設費（新設） 300,934千円
- 大道弁天汚水幹線外1幹線耐震化工事 37,044千円
- 大在水資源再生センター中央監視設備改築工事 313,027千円
（平成27年度～平成28年度 実施事業）

企業債残高の状況

（単位：千円）

区分	平成28年度			平成27年度	増減
		汚水	雨水		
企業債残高	87,901,917	61,818,735	26,083,182	90,895,186	△2,993,269
うち建設企業債	74,937,474	50,875,889	24,061,585	78,177,148	△3,239,674
うち資本費平準化債	12,964,443	10,942,846	2,021,597	12,718,038	246,405

平成28年度 公共下水道事業決算概要

1. 財務状況

(1) 収益的収支

(消費税込み、単位：百万円)

【収入】	下水道使用料 5,503	長期前受金戻入 3,800	一般会計繰入金 (基準内) 2,132	一般会計繰入金 (基準外) 413	その他 15		収入の計 11,863
【支出】	管渠、処理場等の維持管理経費 2,075	総係費 業務費 482	減価償却費等 7,372	企業債支払利息 1,752			支出の計 11,793
	消費税 108	過年度損益修正損等 4					

当年度純損失(消費税抜き) 80

	(雨水)	(汚水)	
【収入】	一般会計繰入金 (基準内) 1,813	長期前受金戻入 1,254	下水道使用料 5,503
	長期前受金戻入 1,254	一般会計繰入金 (基準内) 319	長期前受金戻入 2,546
【支出】	企業債支払利息 574	減価償却費等 2,322	管渠、処理場の維持管理経費 1,940
	総係費 業務費 446	減価償却費等 5,050	一般会計繰入金 (基準外) 413
	企業債支払利息 1,178		その他 15
	総係費 36	資本的収支の消費税調整額 △19	消費税 127
	管渠、ポンプ場の維持管理経費 135	過年度損益修正損等 4	
			収入の計 11,863
			支出の計 11,793

当年度純損失(消費税抜き) 80

【収入・支出の主なもの】

① 下水道使用料 (調定額)

(単位：千円)

区 分	平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	増減 (C) (A)-(B)	増減率 (C)/(B)
水道局委託分	3,996,556	3,953,561	42,995	1.1%
西部日本エンタープライズ委託分	85,396	86,918	△ 1,522	△1.8%
直接徴収分	1,420,801	1,395,959	24,842	1.8%
計	5,502,753	5,436,438	66,315	1.2%

② 一般会計繰入金 (収益的収支のみ)

(単位：千円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	増減率
基 準 内	2,132,276	2,218,399	△ 86,123	△3.9%
うち汚水	319,195	327,261	△ 8,066	△2.5%
うち雨水	1,813,081	1,891,138	△ 78,057	△4.1%
基準外 (全て汚水)	413,294	421,077	△ 7,783	△1.8%
計	2,545,570	2,639,476	△ 93,906	△3.6%

③ 管渠、処理場管理費 (人件費を除く)

(単位：千円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	増減率
管渠、処理場管理費	1,946,156	1,881,920	64,236	3.4%
うち処理場包括維持管理委託費	1,230,996	1,182,384	48,612	4.1%
うち汚泥運搬・処分委託費	469,088	470,615	△ 1,527	△0.3%

H26~H30の5年契約による

④ 業務費 (人件費を除く)

(単位：千円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	増減率
業 務 費	236,944	261,242	△ 24,298	△9.3%
うち水道局使用料徴収事務委託料	214,731	239,772	△ 25,041	△10.4%

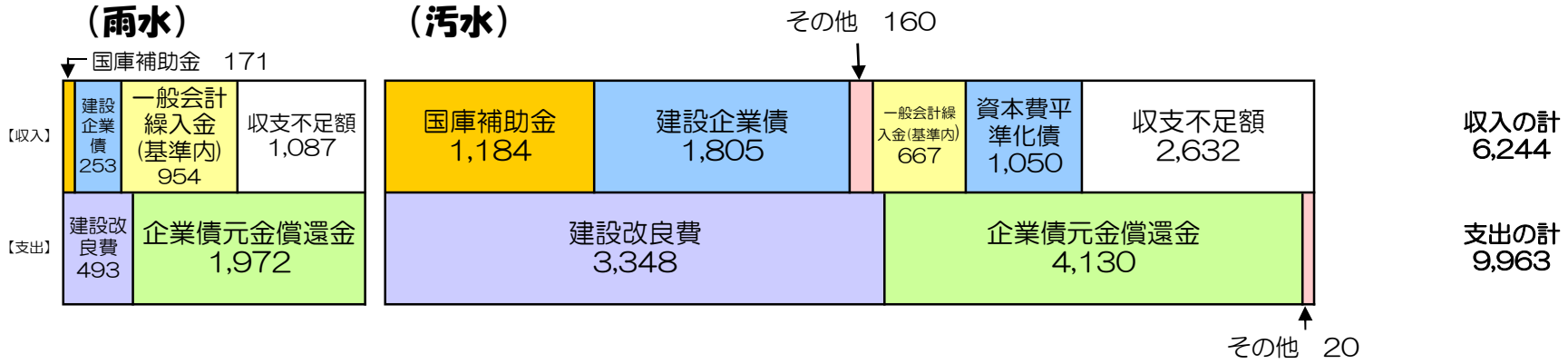
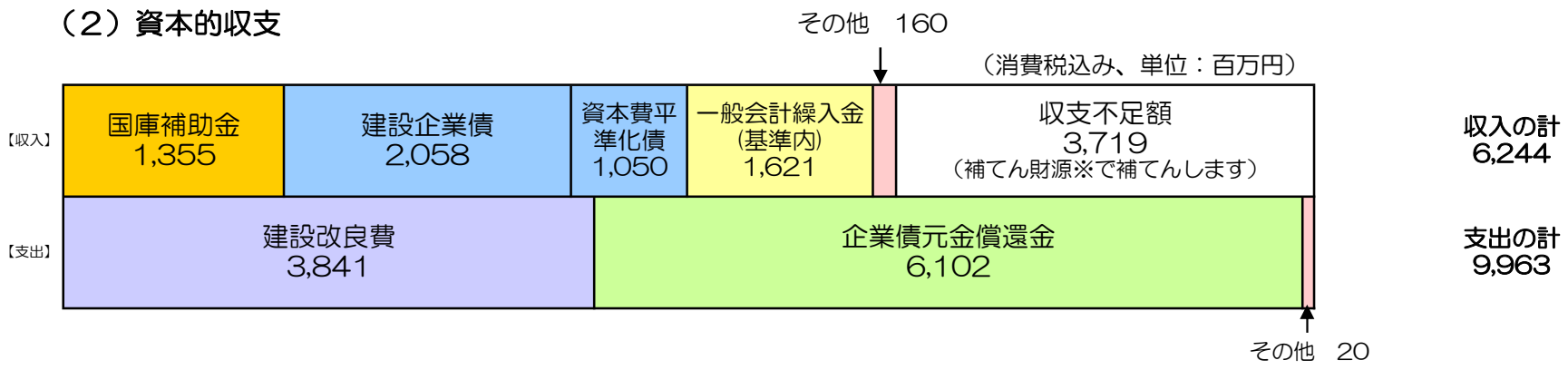
⑤ 総係費 (人件費を除く)

(単位：千円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	増減率
総 係 費	59,112	65,017	△ 5,905	△9.1%
うち企業会計システム保守等業務委託費	12,632	16,564	△ 3,932	△23.7%

平成28年度 公共下水道事業決算概要

(2) 資本的収支



※補てん財源・・・消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金、翌年度への繰越財源等を差し引いた当年度分損益勘定留保資金（現金支出を伴わない減価償却費など）を加えた額。

【支出の主なもの】

○建設改良費（人件費、事務費、固定資産購入費を除く）

（単位：千円）

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	増減率
建設改良費	3,509,144	4,386,574	△ 877,430	△20.0%
うち新規の汚水管渠建設費	1,718,190	1,955,973	△ 237,783	△12.2%

◎主な事業

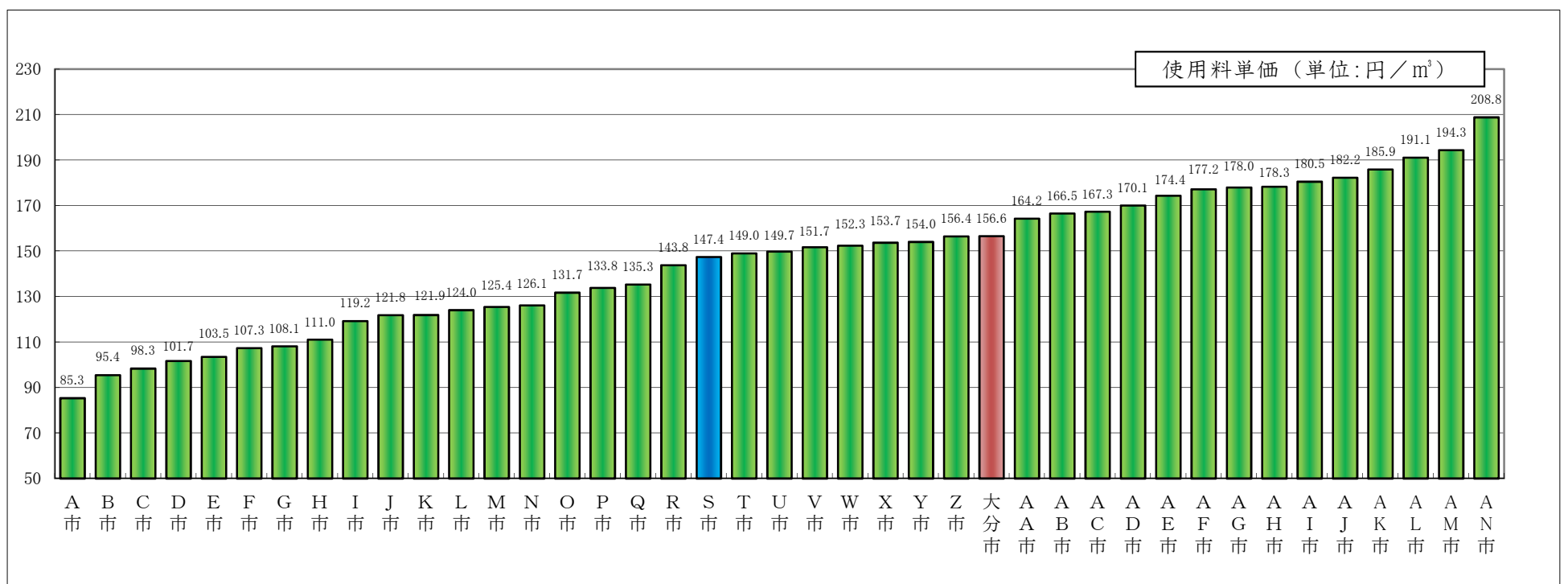
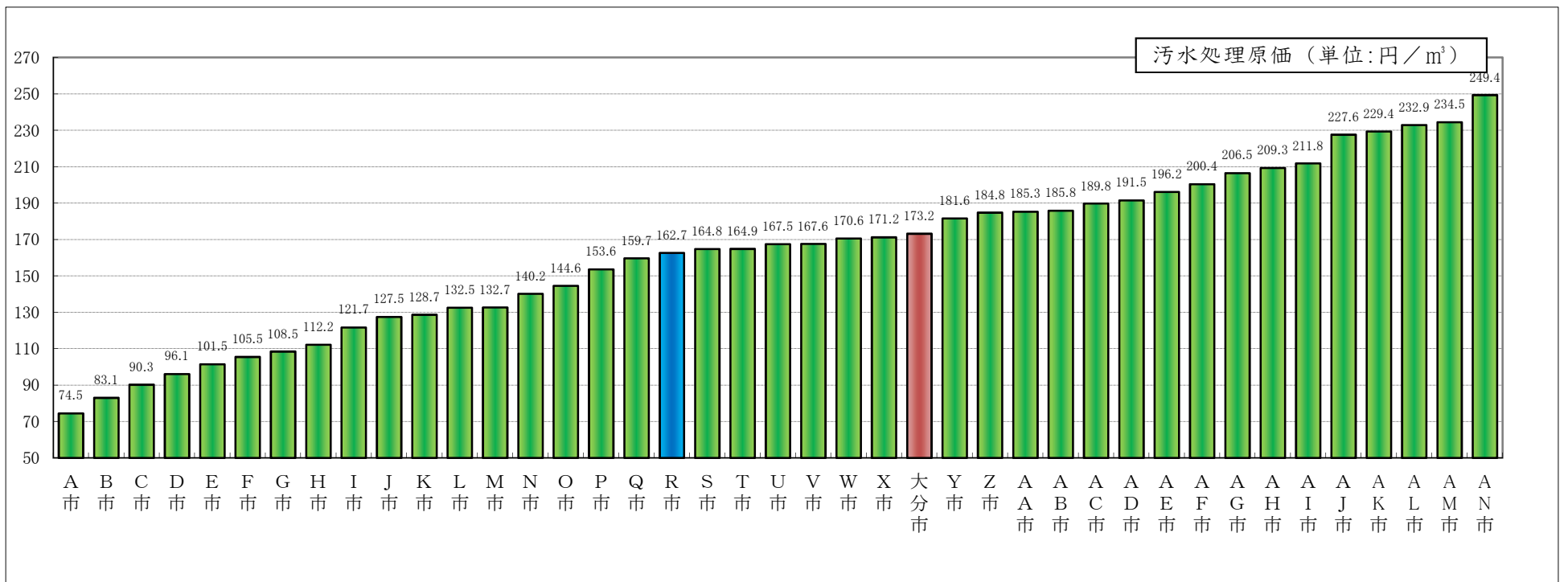
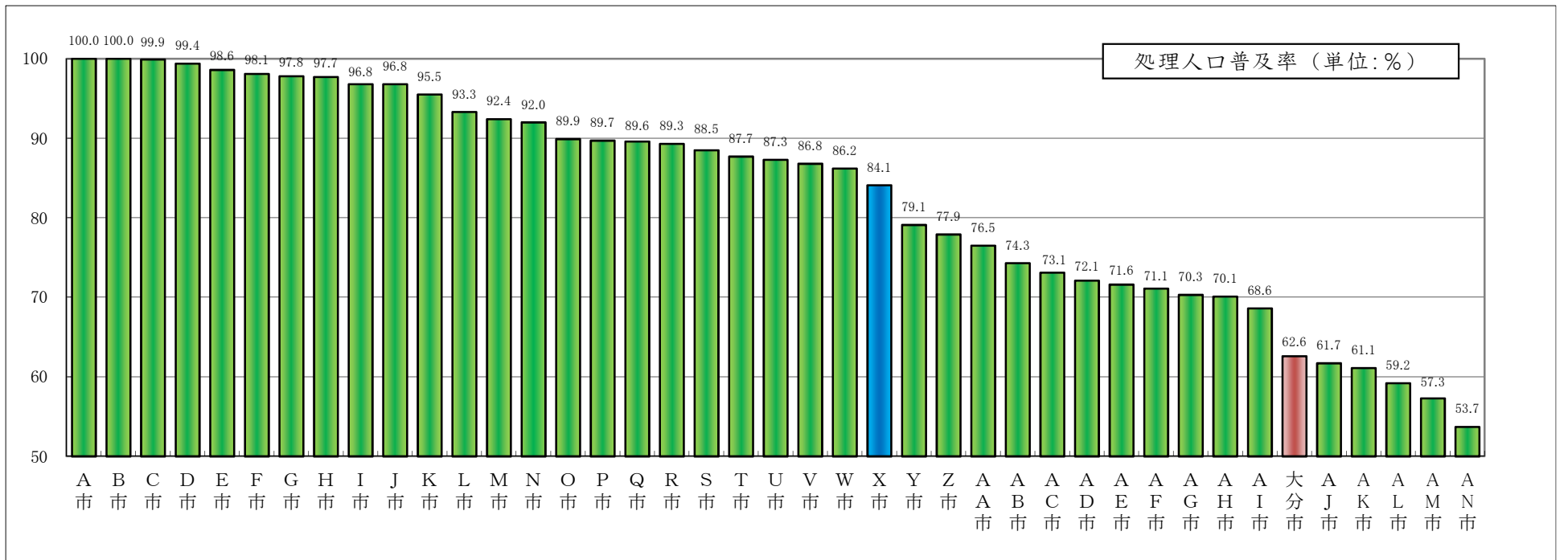
管渠建設費	<ul style="list-style-type: none"> ・中央処理区城南古国府汚水幹線（9工区）工事 ・東部処理区森町1241号線汚水施設工事 ・大在处理区常行5360号線汚水施設工事 ・東部処理区下郡南9479号線雨水施設工事 ・大道弁天汚水幹線外1幹線耐震化工事 	145,136千円 93,107千円 124,290千円 34,455千円 37,044千円
処理場建設費	<ul style="list-style-type: none"> ・大在水資源再生センター中央監視設備改築工事 (平成27年度～平成28年度実施事業) 	313,027千円

2. 経営指標等

※ 中核市は、平成28年4月1日現在 47市、比較については法適用の 41市としている。
 ※ グラフ中の青色の表示は、比較する中核市 41市の平均の近似値の都市を示している。

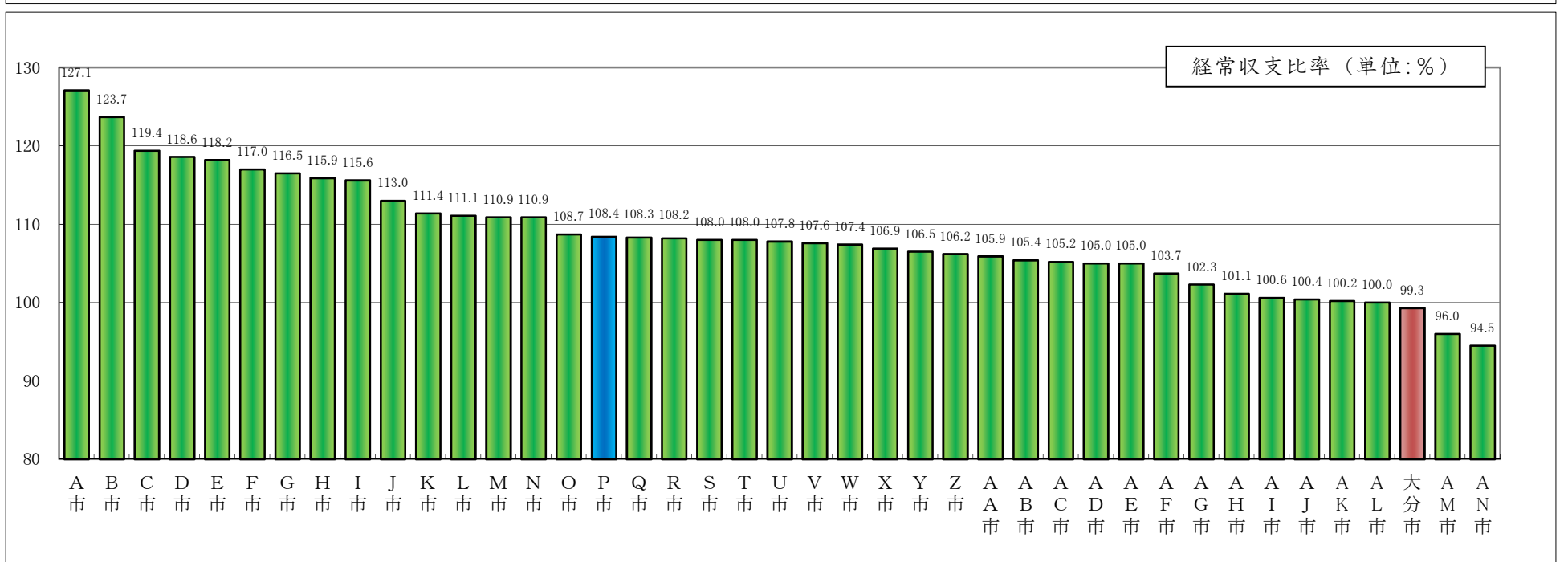
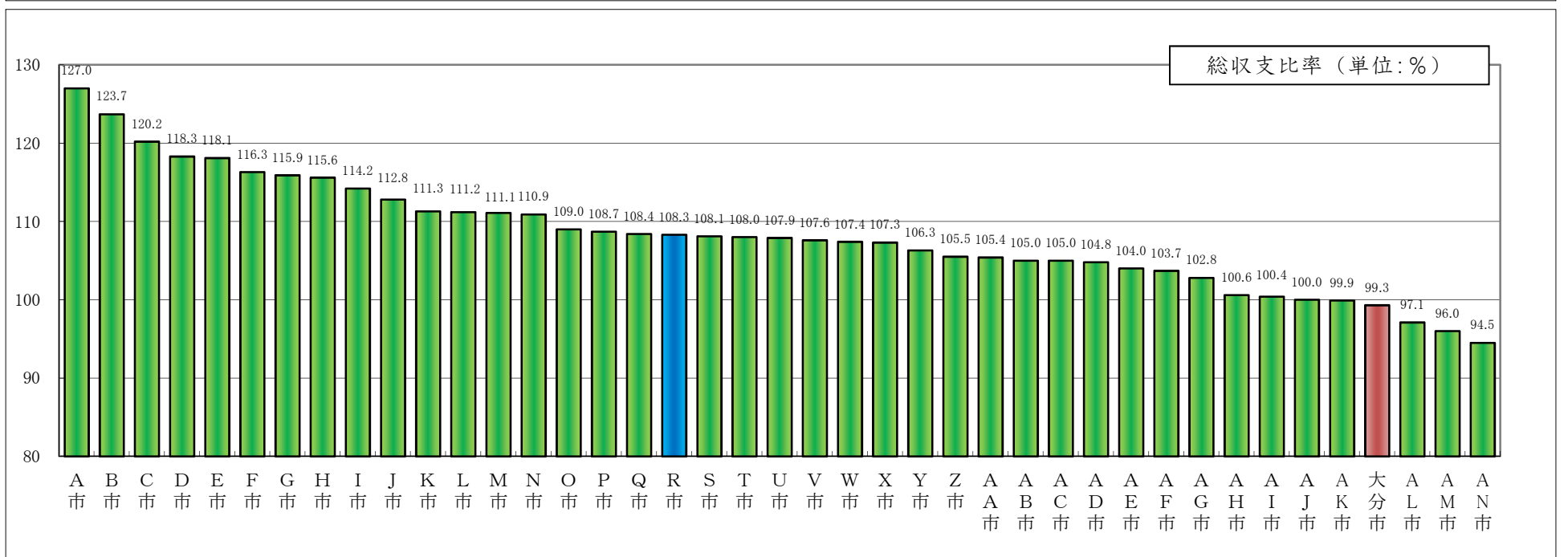
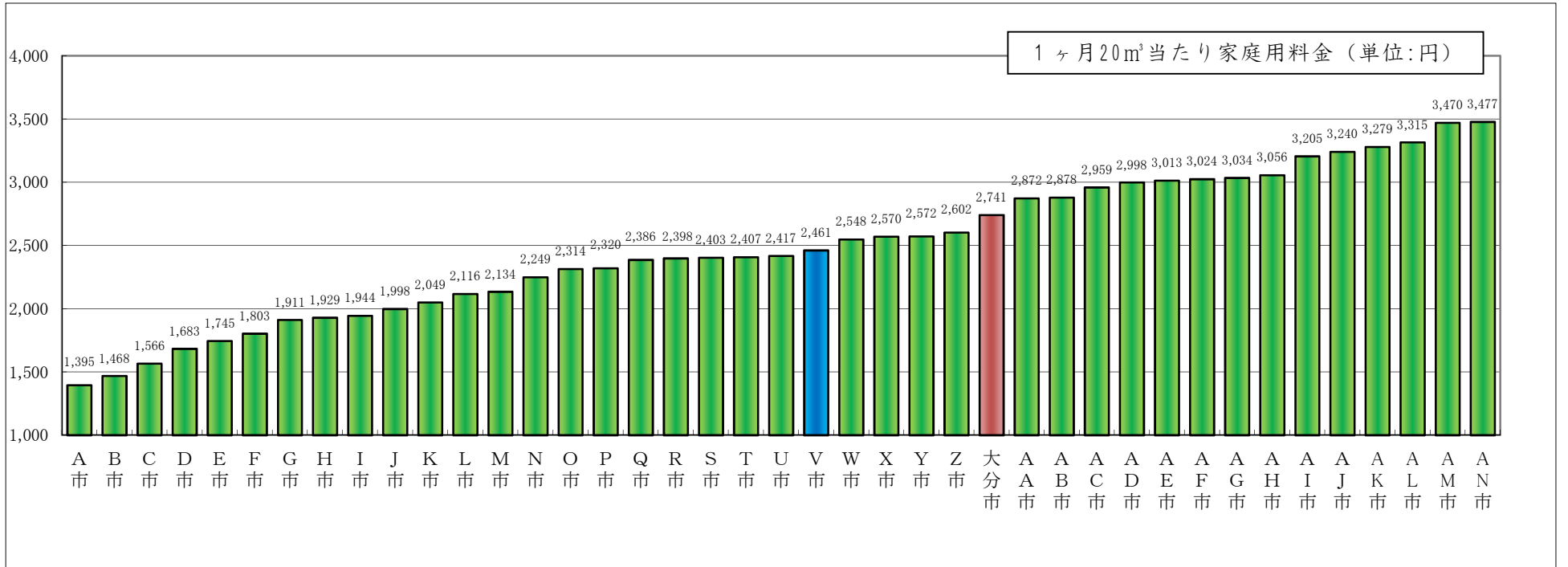
(1) 料金体系等について

項目	大分市	中核市平均	大分市の順位	備考
処理人口普及率 (%)	62.6	82.9	36	行政人口のうち公共下水道が使用可能となった人口の割合を示すもので、公共下水道事業の整備状況を表す
汚水処理原価 (円 / m ³)	173.2	162.7	25	汚水処理費 ÷ 年間総有収水量
使用料単価 (円 / m ³)	156.5	145.9	27	使用料収入 ÷ 年間総有収水量



(2) 収益性・安定性について

項目	大分市	中核市平均	大分市の順位	備考
1ヶ月20m ³ 当たり家庭用料金(円)	2,741	2,487	27	(税込額)
総収支比率(%)	99.3	108.2	38	総収益と総費用を対比したもので、100%を超える場合は利益、100%未満は損失となる
経常収支比率(%)	99.3	108.4	39	経常費用が経常収益によってどの程度まかなわれているかを示すもので、この比率が高いほど経常利益率が高いことを表す



3. 平成28年度 大分市公共下水道事業剰余金処分及び欠損金処理計算書

(単位:円)

	資本金	資本剰余金	未処理欠損金及び未処分利益剰余金
当年度末残高	17,116,017,568	14,623,827,911	△ 2,006,105,958
議会の議決による処分数額	37,950,606	△ 37,950,606	0
非償却資産の処分に伴う資本剰余金の資本金への組入れ	37,950,606	△ 37,950,606	0
処分後残高	17,153,968,174	14,585,877,305	△ 2,006,105,958